

# FLOWER

見える花屋の心象!

## ブリザのミカタ

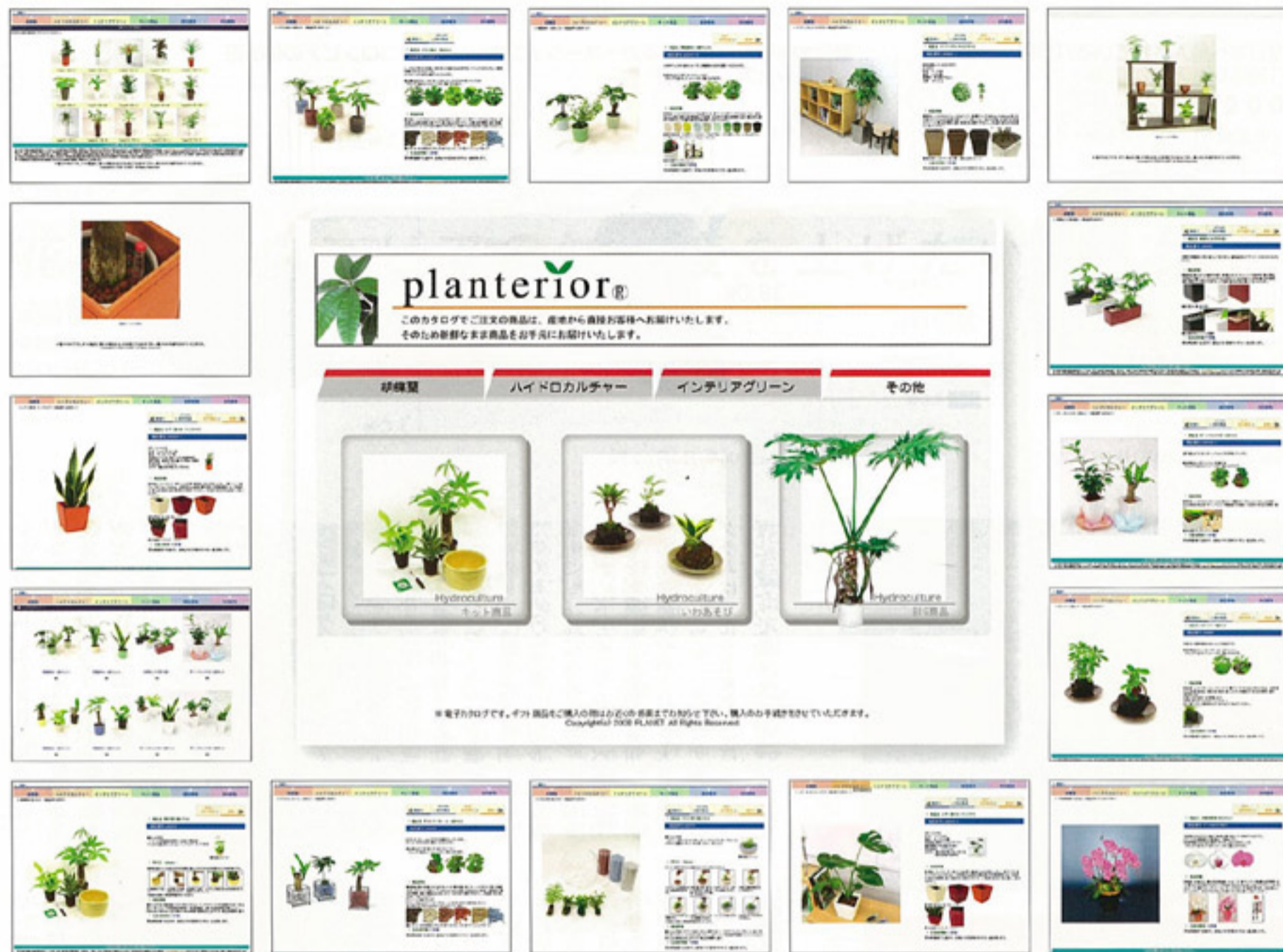
IFEX & GARDEN2008

見どころナビ

成長を誇る パンジー&ビオラ

ミュリエル・ルウ  
デモンストレーション

プロデュース 花屋の達人  
グラチャンの夏



株式会社プラネット  
園芸流通のNEW STANDARD  
planterior®

GARDEX環境緑化フェア (株)プラネットのブースで、画期的な電子カタログシステムplanteriorが公開される。生産、流通、販売、それぞれの場面で劇的な省コスト化が図れると期待されている本システム。その最新情報をお届けする。

必要なものは  
パソコン一台分の  
スペースのみ

「植物が環境や健康に良い影響を与える」ということは、今や常識と言えるほどに社会に浸透している。観葉植物をインテリアとして楽しむことが、ごく一般的になりつつある。

しかし、流通・販売の面から言うと、観葉植物はサイズが大きくなりがちで、十分な販売スペースを確保することが難しい商品。専門店以外は、充実したラインアップを揃えることができない、という印象が強い。

planteriorは、こうした現状を解消し、より多くの人に観葉植物を手に入れる場を提供することを目的に開発された電子カタログだ。

システムはいたってシンプル。店頭のパソコンから欲しい商品を選び、レジで会計を済ませれば指定した日に商品が産地から直接届けられる。パソコン一台分のスペースで、豊富な観葉植物のラインアップを手軽に提案できるのだ。

需要の多様化、原油高による商品価格の高騰などから、省スペース、省コストに直向している花屋さんには、まさに願ったり叶ったりのシステムと言える。



planterior Point  
パソコン一台の  
スペースで  
商品展開が劇的に拡大





## planterior モニタリングREPORT

今回の取材にあたって、銀座のおしゃれな花屋さん「Aux Ami fleur」にplanteriorをモニターを依頼し、実際に注文までの流れを追ってもらった。



スタイリッシュな銀座のOLの間で話題のフラワーショップ。パリの街角のような雰囲気のかわいらしい外観と、可愛らしい花が咲き乱れる店頭が魅力のお店だ。写真はインタビューに答えてくれた、店長の市川敬子さん

Aux Ami fleur  
東京都中央区銀座1-16-17 オザミビル  
TEL 03-3567-4187  
FAX 03-3567-4188  
URL <http://www.auxamis.com/fleur>

—冊子やペーパーのカタログと比べて、使い勝手はいかがでしたか？

カタログを見ながら同時に在庫のチェックができるのは嬉しいですね。操作も思ったより簡単なので、お客様への案内も手軽にできると思います。

カタログを広げて説明するスペースがないお花屋さんにとってはありがたいシステムだと思います。今回は、植物と器から検索することができましたけど、大きさ、高さ、葉の形、枝ぶりなど、色々な検索条件で絞り込むことができれば便利ですね。

—販売、流通のシステムは、使いやすかったですか？

在庫管理の手間や、商品のロスを気にしないで直販できるのはやっぱり手軽ですね。店での注文以外にも、資材などいろいろ直販できるのも良いと思います。

注文した後、発送した商品についてのメールが届くなど、アフターサービスもしっかりしているようなので、使い勝手は悪くないと感じました。

—実際にplanteriorが実用化されたら、導入しますか？

導入にはスペースもコストもほとんどかからない、ということですから、後は品質の問題だけですね。私を含め、お花屋さんにとっては、自分の手を介さずに商品だけがお客様の元に届く、というのは少し抵抗があるのですが、実際にplanterior内で取扱っている商品を見てみて、クオリティに納得したら、導入する価値はあると思いますし、検討する店も多いと思いますよ。

### planteriorの 注文から発注まで



1 店に置かれたタッチパネルモニターから、planteriorにログイン



4 注文サイトにログインし、送り先や配送方法を入力する



2 詳しい情報画面に切り替わる



2 欲しい商品のカテゴリをタッチすると...



5 入力画面。入力が終わると、指定日にお客様のもとに商品が届く



3 詳細画面。商品の画像がアップで見られる。気に入ったらレジで注文し、精算する



インターネットに繋がらさえすれば、普通のノートパソコンでも、planteriorを利用することができる

### planterior Point 2

リアルタイムな  
在庫管理と直販  
低コストで新たな商品展開が



## 観葉植物を一年中容易に 販売可能にした 産地直送の電子カタログ

株式会社プラネット 代表取締役 大林修一氏



生花店で鉢物や観葉植物を  
扱うリスクを解消する

観葉植物は、季節を問う商品ではなく、一年中要求のある商材です。特に最近ではグリーン環境的な価値が見直され、インテリアやギフトとして需要が高まっています。ところが実際、店先に観葉植物が並ぶのは、春から夏の間の長くはない期間です。

生花店等ではサイズが大きい観葉植物はスペースの確保が難しく、管理や配達にかかるコストやロスを知り得る価値を見出せなかつたと思います。これは、生産者、店舗、消費者いずれにとっても残念なことです。観葉植物を求めらるお客様に対して、多種多様な品種、そして各サイズを幅広く提案できれば販売チャンスは広がります。これを可能にするのは電子カタログを使った産地直送の販売です。店舗のスペースに関係なく提案ができます。そして直送した商品を店舗にメールでお知らせし確認していただけますので安心です。

お客様にとって  
扱いやすいシステムを

ネットショップとは違い、花屋さんで注文するシステム、ということが肝要です。花屋さんでは、店員さんと相談しながら、自分に一番必要な商品を探せますし、その場で注文を済ませられるのが、お客様にとって最も安心できる買い方ですから。

一つの商品について一覧、拡大、オンラインでの使用例などたくさん画像が見れるようにしたり、生産者や産地なとMPS、トレーサビリティの情報も閲覧できるようにしたり、お客様が必要とされる情報をできるだけ簡単に検索できるシステムを目指して開発を続けてきました。

タッチパネルを採用したのも、パソコンの操作に慣れていない方でも扱えるように、と考えたからです。

生花店と相互協力して  
花き関連の総合カタログへ

お客様が使いやすいことはもちろん



ですが、生花店にとってもプラスになる体制を構築していきたい、と考えています。たとえば、生花屋さんで販売している商品を、サイトに登録したり、生花屋さんならではの商品を増えたオリジナルのカタログを作るなど、生花店様側からの提案を実現していきたいですね。

もちろん、弊社の商品もブラッシュアップを重ね、良い品種、良い商品をどんどん提案していくつもりです。現在は観葉植物とコチヨウランを取扱っていますが、将来的には鉢花からサボテン、多肉などの植物から資材まで、花き関連商品を総合的に取扱う、流通インフラストラクチャーとして展開できるシステムだと確信しております。



IFEX&GARDEX2008で  
planteriorをCHECK!

IFEX&GARDEX環境緑化フェア 10-75

- (株)プラネットのブースでは、最新の鉢物・観葉植物の展示と、planteriorの体験版が展示される予定。planteriorに実際に触れて確かめることのできる、またとない機会だ。園芸分野での商品ラインアップに興味がある方は、この機会に是非ブースを訪れてみよう。